

研究課題名	プラチナ併用療法を施行された肺癌患者における発熱性好中球減少症のリスク因子の検討
研究期間	実施許可日 ～ 2028年 3月 31日
研究の対象	2016年7月～2026年9月の間に広島大学病院呼吸器内科で肺癌に対する一次治療としてプラチナ併用療法を施行された方
研究の目的・方法	<p>研究目的：プラチナ併用療法を施行された肺癌患者において、発熱性好中球減少症（FN）の発症リスク因子を明らかにすることです。また、FN発症が治療効果に及ぼす影響についても副次的に調査します。</p> <p>研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、FN発症と関連のある項目を調査します。また、FN発症の有無で治療効果に違いが出るか解析します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：年齢、性別、喫煙歴、BMI、全身状態、併存疾患、内服薬、放射線治療歴、手術歴、臨床病期、化学療法の種類および投与量、免疫療法併用の有無、顆粒球コロニー刺激因子製剤の予防投与の有無、血液検査結果、画像検査結果、肺機能検査結果、病理検査結果、FN発症の有無、感染症発症の有無、入院期間、治療効果等</p> <p>試料・情報の管理責任者：広島大学病院呼吸器内科 助教 益田 武</p>
利用または提供を開始する予定日	2025年10月29日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学病院呼吸器内科 助教 益田 武</p>
その他	—
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や</p>

研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 呼吸器内科

担当者：伊藤 徳明、益田 武

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5196